

計量経済学応用

1. イントロダクション

矢内 勇生

2019年4月11日

高知工科大学 経済・マネジメント学群

計量経済学とは？

- 経済学（社会科学）における理論を、データによって検証したり、発見したりする方法を学ぶ

計量分析とは？

- 計量分析：数量分析, 定量（的）分析; quantitative methods
- 数量データ（数字で表現されるデータ）を分析する
- 統計学の手法を使う：記述統計と推測統計
 - 探索的なデータ分析
 - 仮説を検証するためのデータ分析

この授業で何を学ぶか？

- 計量分析によって、**因果効果**を見つける
 - 分析ソフトR（と関連するソフト）の使い方
 - 数量分析研究の記録の仕方
 - 研究上のパズルに応じた分析方法の選択
 - 分析結果のプレゼンテーション

なぜこの授業を受けるのか？

- 計量分析に興味がある場合
 - 自分の論文・レポート等で数量分析を行うことができる
 - 研究をもっと効率的に進めることができる
- 計量分析に興味がない場合
 - 計量分析に興味をもつきっかけに！
 - より多くの研究論文が読めるようになる
 - 計量分析の内容を知れば、計量分析を批判できるようになる（知らなければ批判できない）

授業の進め方

- 講義と実習を織り交ぜながら進める
- 自分のラップトップを持ち込んでもよい
- 授業中はいつでもコンピュータを利用できる状態にしておくこと
- 質問があるときはいつでも手を挙げること
 - 内容の性質上、一度わからなくなると追いつくのが難しいので、わからなくなったときに訊く（欠席するとどうなるかはここから推測せよ）

成績評価の方法

- 授業への参加（単なる出席ではない）：20%
- 課題の提出状況と完成度：40%
 - 隔週で宿題を出すので、締切までに提出すること
 - 締切後の提出は成績評価に含めない（必要なら採点はある）
- 期末レポート：40%
 - 期末試験の内容についてはシラバスを参照

授業のウェブページ

- 矢内のウェブサイト: <http://www.yukiyanaai.com/>
 - (日本語 →) 授業 → 計量経済学応用
 - ▶ 授業のページ: <http://yukiyanaai.github.io/jp/classes/econometrics2/>
- ▶ Rの使用法や課題、データなどを「授業の内容」にアップロードするので、日常的に確認すること
- ▶ シラバス（最新版）もここにアップロードする

シラバス（講義要項）

- 授業のウェブページにPDF版あり
- 内容は変更することがある：重要な変更については授業中にアナウンスする
- シラバスは熟読すること：全員シラバスの内容は熟知しているという前提で授業を進める

教科書

- 田中隆一. 2015. 『計量経済学の第一歩：実証分析のススメ』（有斐閣）



参考書1

- 浅野正彦, 矢内勇生. 2018.
『Rによる計量政治学』
(オーム社)
- ▶ その他の主な参考書についてはシラバスを参照
- ▶ 各回の内容に対応する参考書は適宜紹介する



RStudioの使い方を思い出そう！

- RStudioを開く
- 授業用に新規Project を作成する（右上から）
- Project 内に新しいR Markdownファイル (.Rmd) を作る（左上から）
- 「統計学2」「計量経済学」のページを参考に、RとRStudioの使い方を思い出そう！